(19)日本国特許庁(JP)　(12)特　許　公　報(B2)　(11)特許番号
特許第3651184号
(P3651184)
(45)発行日　平成17年5月25日(2005.5.25)　(24)登録日　平成17年3月4日(2005.3.4)

(51)Int.Cl.[7]　F I
B41K　1/32　B41K　1/32　Z

請求項の数 3　(全 11 頁)

(21)出願番号　特願平9-156970
(22)出願日　平成9年6月13日(1997.6.13)
(65)公開番号　特開平11-1056
(43)公開日　平成11年1月6日(1999.1.6)
審査請求日　平成15年9月30日(2003.9.30)

(73)特許権者　000005267
ブラザー工業株式会社
愛知県名古屋市瑞穂区苗代町１５番１号
(74)代理人　100104178
弁理士　山本　尚
(72)発明者　今牧　照雄
名古屋市瑞穂区苗代町１５番１号ブラザー工業株式会社内
(72)発明者　平　比呂志
名古屋市瑞穂区苗代町１５番１号ブラザー工業株式会社内
(72)発明者　山本　稔
名古屋市瑞穂区苗代町１５番１号ブラザー工業株式会社内

最終頁に続く

(54)【発明の名称】スタンプ装置

(57)【特許請求の範囲】
【請求項１】
把持部を有し下面部が矩形状に形成されるスタンプ本体と、
インクが含浸され前記スタンプ本体の下面部に取り付けられるインク含浸体と、
穿孔画像が形成され且つ前記インク含浸体の下面よりも大きく形成されてインク含浸体の下面部を覆う孔版原紙と、
上下面に貫通する矩形状の貫通孔を備えるとともに、該貫通孔の相対向する１対の辺縁部に該各辺に沿って立設され、前記スタンプ本体の下端外側面に嵌合する第１ガイド部材を備え、該第１ガイド部材よりも低い高さを有し且つ前記貫通孔の前記辺縁部とは異なる相対向する１対の辺縁部に該各辺に沿って立設され、前記スタンプ本体の前記と異なる下端外側面に嵌合する第２ガイド部材を備え、まず、前記第１ガイド部材が前記インク含浸体の下面部に設けられる孔版原紙の側縁部を押し返し、ついで第２ガイド部材が前記孔版原紙の前記と異なる側縁部を折り返して該第１ガイド部材及び第２ガイド部材が前記スタンプ本体の下端外側面に嵌合するように構成され、前記スタンプ本体に嵌合した際に前記インク含浸体の下面に対応する前記孔版原紙の印面部が前記貫通孔から外部に臨むように構成されてなるスカート部材とを備え、
前記孔版原紙と前記インク含浸体とを印刷対象体に押圧して穿孔画像を該印刷対象体に印刷するスタンプ装置において、
前記スカート部材に、前記第１ガイド部材及び第２ガイド部材により折り返されて形成される孔版原紙の耳部を前記第１ガイド部材側又は第２ガイド部材側に折り返す第３ガイ

ド部材を設けたことを特徴とするスタンプ装置。

【請求項２】

把持部を有し下面部が矩形状に形成されるスタンプ本体と、インクが含浸され前記スタンプ本体の下面部に取り付けられるインク含浸体と、穿孔画像が形成され且つ前記インク含浸体の下面よりも大きく形成されてインク含浸体の下面部を覆う孔版原紙と、上下面に貫通する矩形の貫通孔を有し且つ前記スタンプ本体の下部に下方より嵌合するように設けられ、前記スタンプ本体に嵌合した際に前記インク含浸体の下面に対応する前記孔版原紙の印面部が前記貫通孔から外部に臨むように構成してなるスカート部材とを備え、孔版原紙とインク含浸体とを印刷対象体に押圧して穿孔画像を該印刷対象体に印刷するスタンプ装置において、

前記スタンプ本体が、前記インク含浸体を下面に保持するインク含浸体保持部を下面に備えるとともに、該インク含浸体保持部の外側の下面外周縁に立設される外壁を備え、

前記スカート部材が、上下面に貫通した矩形状の貫通孔を中央部に備えた矩形平板状の基盤と、該基盤の上面外周縁に立設され、前記スタンプ本体の外壁に嵌合する係合壁と、前記貫通孔の相対向する１対の辺縁部に該各辺に沿って立設され、前記インク含浸体保持部の下端外側面に嵌合する第１ガイド片と、該１対の第１ガイド片間に設けられ且つ前記貫通孔の前記辺縁部とは異なる相対向する１対の辺縁部に該各辺に沿って立設されるとともに、前記第１ガイド片と適宜間隔をあけて設けられ、前記インク含浸体保持部の前記と異なる下端外側面に嵌合する１対の第２ガイド片と、前記係合壁と第２ガイド片との間にそれぞれ立設される１対の第３ガイド片とを備え、前記第１ガイド片，第２ガイド片及び第３ガイド片の上端の高さが第１ガイド片，第２ガイド片，第３ガイド片の順に低くなるように設けられるとともに、第３ガイド片の両端部が第１ガイド片と第２ガイド片との間隙に位置するように屈曲し且つ第１ガイド片の側面に接合するように形成されてなり、

前記スカート部材を前記スタンプ本体に取り付ける際に、まず、前記第１ガイド片が前記インク含浸体の下面部に設けられる前記孔版原紙の側縁部を折り返し、ついで第２ガイド片が前記孔版原紙の前記とは異なる側縁部を折り返し、ついで第１ガイド片及び第２ガイド片により折り返されて形成される前記孔版原紙の耳部を第３ガイド片により折り返し、該耳部を第２ガイド片と第３ガイド片との間隙に案内するように構成したことを特徴とするスタンプ装置。

【請求項３】

前記係合壁と前記第３ガイド片との間にリブを設け、

当該リブと前記係合壁及び前記第３ガイド片との接合部を曲面に形成したことを特徴とする請求項２記載のスタンプ装置。

【発明の詳細な説明】

【０００１】

【発明の属する技術分野】

本発明は、スタンプ本体の下面部に取り付けられたインク含浸体に、穿孔画像が形成された孔版原紙を密着させて、孔版原紙及びインク含浸体を印刷対象体に押圧して穿孔画像を印刷するスタンプ装置に関し、更に詳しくは、スタンプ本体の下端部に設けられ、孔版原紙の外周部分をインク含浸体の側面側へ立ち上げるスカート部材を備えたスタンプ装置に関する。

【０００２】

【従来の技術】

従来より、把持部を有するスタンプ本体と、スタンプ本体の下面部に取り付けられたインク含浸体と、予め穿孔画像が形成されインク含浸体の下面に密着して設けられる感熱性の孔版原紙とからなり、孔版原紙及びインク含浸体を印刷対象体に押圧して穿孔画像を印刷するスタンプ装置が実用化されている。

【０００３】

そして、本願出願人は、孔版原紙のスタンプ本体への装着が容易であり、しかもインク含浸体からのインク漏れを軽減することのできる図７乃至図９に示すようなスタンプ装置

を既に提案している。

【０００４】

同図に示すように、このスタンプ装置１００は、把持部１０２を有する直方体状のスタンプ本体１０１と、スタンプ本体１０１の下面部に取り付けられたインク含浸体１０３と、穿孔画像が形成された孔版原紙Ｋと、スタンプ本体１０１に着脱自在に外嵌されるスカート部材１０５等で構成される。

【０００５】

スカート部材１０５はその底面部に開口部１０６を有し、スカート部材１０５の相対向する１対の内壁面１０７には、開口部１０６の上方第１高さ部位に、内壁面１０７から内側へ開口部１０６の外周縁に対応する位置まで突出して水平方向に延びる内側下がり傾斜状の傾斜案内面１１０を有する第１案内部１０９が設けられ、前記とは異なる相対向する１対の内壁面１０８には、開口部１０６の上方第１高さよりも低い第２高さ部位に、内壁面１０８から内側へ開口部１０６の外周縁に対応する位置まで突出して水平方向に延びる内側下がり傾斜状の傾斜案内面１１２を有する第２案内部１１１が設けられ、図８に示すように、スカート部材１０５内部の４隅の各々の第１案内部１０９と第２案内部１１１との間には、孔版原紙Ｋが第１案内部１０９及び第２案内部１１１で案内されて折り込まれた際に、孔版原紙Ｋの角部分を逃がすための逃し部１１３が形成されている。

【０００６】

孔版原紙Ｋをスタンプ本体１０１へ装着する場合、シート状の孔版原紙Ｋをインク含浸体１０３の下面に付着させた状態で、スタンプ本体１０１の下部にスカート部材１０５を外嵌合させていくと、まず、１対の第１案内部１０９の傾斜案内面１１０により、孔版原紙Ｋの外周部の平行な両辺部が案内されてスタンプ本体１０１の側面に密着し、次に、１対の第２案内部１１１の傾斜案内面１１２により、孔版原紙Ｋの外周部の前記両辺部とは異なる平行な両辺部が案内されてスタンプ本体１０１の側面に密着する。そして、図９に示すように、折り曲げられた孔版原紙Ｋの４隅には耳部１１４が形成され、この耳部１１４が前記逃し部１１３に収まる。

【０００７】

このスタンプ装置１００によれば、孔版原紙Ｋをスタンプ本体１０１へ装着する際に、まず第１案内部１０９により、ついで第２案内部１１１により孔版原紙Ｋを折り曲げているので、支障なくこれを折り曲げることができ、当該折り曲げ部が破断するという不都合を生じない。

【０００８】

【発明が解決しようとする課題】

上述したスタンプ装置１００の、孔版原紙Ｋの第１案内部１０９及び第２案内部１１１に対応する部分の外周縁部は、当該第１案内部１０９及び第２案内部１１１により垂直に折り返されてスタンプ本体１０１の側面に密着しているが、耳部１１４はスタンプ本体１０１の側面には密着しておらず、その上端部はむしろ開口した状態となっている。

【０００９】

また、図１０に示すように、スカート部材１０５の上端部はスタンプ本体１０１に接触しておらず、スカート部材１０５の上端部とスタンプ本体１０１との間に間隙１１５があり、前記逃し部１１３はこの間隙１１５を介して外部と連通している。

【００１０】

従って、前記インク含浸体１０３に保持されるインク量が多い場合には、このスタンプ装置１００を横置きにすると、前記耳部１１４の開口部からインクが流れ出し、これがスカート部材１０５の上端部とスタンプ本体１０１との間隙１１５を通って外部に漏れ出すという不都合を生じる。

【００１１】

スタンプ装置１００を立てた状態で使用する場合にはこのような漏れの問題は生じないのであるが、一般消費者である使用者にこのような厳密な取り扱いを求めるのは困難であり、結局使用者の扱い勝手を良くするには、スタンプ装置１００を横置きにした場合にで

も、インク漏れを生じないようにする必要がある。

【００１２】

本発明は、かかる課題を解決すべくなされたものであって、インク含浸体に保持されるインクが外部に漏れ難いスタンプ装置の提供を目的とする。

【００１３】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するための本発明の請求項１に係る発明は、把持部を有し下面部が矩形状に形成されるスタンプ本体と、インクが含浸され前記スタンプ本体の下面部に取り付けられるインク含浸体と、穿孔画像が形成され且つ前記インク含浸体の下面よりも大きく形成されてインク含浸体の下面部を覆う孔版原紙と、上下面に貫通する矩形状の貫通孔を備えるとともに、該貫通孔の相対向する１対の辺縁部に該各辺に沿って立設され、前記スタンプ本体の下端外側面に嵌合する第１ガイド部材を備え、該第１ガイド部材よりも低い高さを有し且つ前記貫通孔の前記辺縁部とは異なる相対向する１対の辺縁部に該各辺に沿って立設され、前記スタンプ本体の前記と異なる下端外側面に嵌合する第２ガイド部材を備え、まず、前記第１ガイド部材が前記インク含浸体の下面部に設けられる孔版原紙の側縁部を押し返し、ついで第２ガイド部材が前記孔版原紙の前記と異なる側縁部を折り返して該第１ガイド部材及び第２ガイド部材が前記スタンプ本体の下端外側面に嵌合するように構成され、前記スタンプ本体に嵌合した際に前記インク含浸体の下面に対応する前記孔版原紙の印面部が前記貫通孔から外部に臨むように構成されてなるスカート部材とを備え、前記孔版原紙と前記インク含浸体とを印刷対象体に押圧して穿孔画像を該印刷対象体に印刷するスタンプ装置において、

前記スカート部材に、前記第１ガイド部材及び第２ガイド部材により折り返されて形成される孔版原紙の耳部を前記第１ガイド部材側又は第２ガイド部材側に折り返す第３ガイド部材を設けたことを特徴とするものである。

【００１４】

この発明によれば、側縁部を折り返し形成された孔版原紙の耳部を、第３ガイド部材により更に折り返しているので、当該耳部が前記スタンプ本体の側面に密着し、孔版原紙がインク含浸体を密閉状に包み込むので、スタンプ装置を横置きにした場合であってもインクが当該耳部から容易には漏洩しない。

【００１５】

また、請求項２に係る発明は、把持部を有し下面部が矩形状に形成されるスタンプ本体と、インクが含浸され前記スタンプ本体の下面部に取り付けられるインク含浸体と、穿孔画像が形成され且つ前記インク含浸体の下面よりも大きく形成されてインク含浸体の下面部を覆う孔版原紙と、上下面に貫通する矩形の貫通孔を有し且つ前記スタンプ本体の下部に下方より嵌合するように設けられ、前記スタンプ本体に嵌合した際に前記インク含浸体の下面に対応する前記孔版原紙の印面部が前記貫通孔から外部に臨むように構成してなるスカート部材とを備え、孔版原紙とインク含浸体とを印刷対象体に押圧して穿孔画像を該印刷対象体に印刷するスタンプ装置において、

前記スタンプ本体が、前記インク含浸体を下面に保持するインク含浸体保持部を下面に備えるとともに、該インク含浸体保持部の外側の下面外周縁に立設される外壁を備え、

前記スカート部材が、上下面に貫通した矩形状の貫通孔を中央部に備えた矩形平板状の基盤と、該基盤の上面外周縁に立設され、前記スタンプ本体の外壁に嵌合する係合壁と、前記貫通孔の相対向する１対の辺縁部に該各辺に沿って立設され、前記インク含浸体保持部の下端外側面に嵌合する第１ガイド片と、該１対の第１ガイド片間に設けられ且つ前記貫通孔の前記辺縁部とは異なる相対向する１対の辺縁部に該各辺に沿って立設されるとともに、前記第１ガイド片と適宜間隔をあけて設けられ、前記インク含浸体保持部の前記と異なる下端外側面に嵌合する１対の第２ガイド片と、前記係合壁と第２ガイド片との間にそれぞれ立設される１対の第３ガイド片とを備え、前記第１ガイド片，第２ガイド片及び第３ガイド片の上端の高さを第１ガイド片，第２ガイド片，第３ガイド片の順に低くなるように設けられるとともに、第３ガイド片の両端部が第１ガイド片と第２ガイド片との間

隙に位置するように屈曲し且つ第１ガイド片の側面に接合するように形成されてなり、
前記スカート部材を前記スタンプ本体に取り付ける際に、まず、前記第１ガイド片が前記インク含浸体の下面部に設けられる前記孔版原紙の側縁部を折り返し、ついで第２ガイド片が前記孔版原紙の前記とは異なる側縁部を折り返し、ついで第１ガイド片及び第２ガイド片により折り返されて形成される前記孔版原紙の耳部を第３ガイド片により折り返し、該耳部を第２ガイド片と第３ガイド片との間隙に案内するように構成したことを特徴とするものである。

【００１６】

この発明によれば、上記請求項１に係る発明と同様に、側縁部を折り返し形成された孔版原紙の耳部を、第３ガイド片により更に折り返しているので、当該耳部が前記インク含浸体保持部の側面に密着し、孔版原紙がインク含浸体を密閉状に包み込むので、スタンプ装置を横置きにした場合であってもインクが当該耳部から容易には漏洩しない。また、前記耳部を第２ガイド片と第３ガイド片の間隙に案内するようにしているので、仮に当該耳部からインクが漏洩しても、漏洩したインクは当該第２ガイド片と第３ガイド片の間隙に毛細管現象によって保持され、更にスカート部材の係合壁とスタンプ本体の外壁が係合するように両者を組み付けているので、前記第２ガイド片と第３ガイド片との間隙はスタンプ本体とスカート部材とで形成される閉空間内にあり、例え前記間隙からインクが更に漏れ出したとしても、前記係合壁及び外壁が障害となって更にスタンプ装置外にインクが漏れ出すのが抑制される。

【００１７】

また、請求項３に係る発明は、請求項２の発明の前記係合壁と前記第３ガイド片との間にリブを設け、当該リブと前記係合壁及び前記第３ガイド片との接合部を曲面に形成したことを特徴とするものである。この接合部が鋭角であると、第２ガイド片と第３ガイド片の間隙からインクが漏れ出した場合に、この接合部の毛細管現象によって前記係合壁と外壁との接合部にインクを導く経路が形成されることがある。請求項３に係る発明によれば、前記接合部を曲面に形成し、これを鈍角にしているので、同部に毛細管現象によるインク導出経路は形成されず、更にインク漏れを生じ難いものとなっている。

【００１８】

【発明の実施の形態】

以下、本発明の具体的な実施形態に係るスタンプ装置ついて添付図面に基づき説明する。

【００１９】

図１は本実施形態に係るスタンプ装置を各部材に分解して示す斜視図であり、図４は組み付けたスタンプ装置を図１に示す矢示Ａ－Ａ方向から視て示す断面図であるが、同図に示すように、このスタンプ装置１は、スタンプ本体２と、このスタンプ本体２の下面に貼着されるインク含浸体８と、このインク含浸体８の下面に設けられる孔版原紙Ｋと、スタンプ本体２の下端部に装着されるスカート部材１０と、スカート部材１０の下端部に装着されるカバー３１とを備えてなるものである。以下、各部の詳細について説明する。

【００２０】

図１及び図４に示すように、前記スタンプ本体２は、矩形平板状の基盤３と、この基盤３の下面に設けられ、下方に開口する適宜空間５ａを有する矩形筐体状のインク含浸体保持部５と、このインク含浸体保持部５の外側であり且つ前記基盤３の下面外周縁に立設した外壁６と、基盤３の上面に設けた把持部４とを備えた構造を有するものである。

【００２１】

前記インク含浸体８は合成樹脂発泡体，不織布等、インクを保持し得る素材を矩形平板状に成形して得られるものであり、前記インク含浸体保持部５の下面に当該下面から突出するように貼着されている。そして、前記インク含浸体保持部５の空間に貯留されるインクが開口部より滲み出し、当該インク含浸体８に保持される。

【００２２】

前記孔版原紙Ｋは感熱性の孔版原紙からなるもので、サーマルプリンタ等により所望の

画像が穿孔可能に形成されており、少なくとも前記インク含浸体保持部５の下面よりも大きい面積となるように裁断されている。

【００２３】

図２は前記スカート部材１０を図１における上方から視た平面図であるが、図１及び図２に示すように、このスカート部材１０は、中央部が上下面に貫通した矩形の貫通孔１３を備える矩形平板状の基盤１１と、この基盤１１の上面外周縁に立設され、前記スタンプ本体２の外壁６に外嵌合する係合壁１２と、前記貫通孔１３の長辺縁部のそれぞれに相互に対向するように立設される１対の第１ガイド片１４，１４と、この１対の第１ガイド片１４，１４の間に設けられ且つ前記貫通孔１３の短辺縁部のそれぞれに相互に対向するように立設されるとともに、前記第１ガイド片１４，１４と適宜間隔をあけて設けられる１対の第２ガイド片１５，１５と、前記係合壁１２，１２と第２ガイド片１５，１５との間にそれぞれ立設される１対の第３ガイド片１６，１６とを備えた構造を有するものである。

【００２４】

前記第１ガイド片１４，第２ガイド片１５，第３ガイド片１６の上端の高さは、第１ガイド片１４が最も高く、ついで第２ガイド片１５が高く、第３ガイド片１６が最も低くなるように設定されている。また、第３ガイド片１６は、その両端部が第１ガイド片１４と第２ガイド片１５との間隙に位置するように屈曲し且つ第１ガイド片１４の側面に接合するように設けられている。そして、このスカート部材１０を前記スタンプ本体２の下端部に取り付けると、全体として輪環状に形成される１対の第１ガイド片１４，１４及び第２ガイド片１５，１５がインク含浸体保持部５の外側面に外嵌合する。

【００２５】

また、図３は図２の矢視Ｂ－Ｂ方向の断面図であるが、同図に示すように、側壁１２と第１ガイド片１４との間の基盤１１下面には、前記カバー３１と係合する凹部１７が設けられており、係合壁１２と第３ガイド片１６との間及び第２ガイド片１５と第３ガイド片１６との間の基盤１１の上面１１ｂは、係合壁１２と第１ガイド片１４との間の基盤１１の上面１１ａよりも低くなっている。また、係合壁１２と第３ガイド片１６との間には前記上面１１ａと同じ高さの上面を有するリブ１８が設けられている。

【００２６】

前記カバー３１は上部が開口した筐体状の部材からなり、上端の両側縁に前記スカート部材１０の凹部１７と係合する係合部３２を備えており、スタンプ装置１を使用しない場合にはこのカバー３１を前記スカート部材１０に装着する。

【００２７】

以上の各部材よりなるスタンプ装置１は以下のようにして組み付けられる。即ち、まず、展開状態の孔版原紙Ｋを前記スタンプ本体２の下面に取り付けたインク含浸体８の下面に付着する。ついで、スカート部材１０を、その１対の第１ガイド片１４，１４及び第２ガイド片１５，１５が前記インク含浸体保持部５の外側面に外嵌合するようにスタンプ本体２の下端部に取り付ける。

【００２８】

これにより、まず、最も高さの高い第１ガイド片１４，１４によって、これに当接する孔版原紙Ｋの側縁部が折り曲げられ、図５（ａ）に示すように、同側縁部がインク含浸体保持部５の外側面に沿うように立ち上げられる。ついで、第２ガイド片１５，１５によって、これに当接する孔版原紙の残りの側縁部が折り曲げられ、同図（ｂ）に示すように、同側縁部がインク含浸体保持部５の外側面に沿うように立ち上げられ、耳部Ｍが形成される。ついで、同図（ｃ）に示すように、第３ガイド片１６，１６の屈曲部に案内されて、孔版原紙Ｋの耳部Ｍが第２ガイド片１５と第３ガイド片１６との間に位置するように折り曲げられる。この後、インク含浸体保持部５の下端部がスカート部材１０貫通孔１３に嵌挿され、インク含浸体８がこれに当接する孔版原紙Ｋとともにスカート部材１０の下端面より下方に突出する（突出した部分が印面部となる）一方、スカート部材１０の係合壁１２がスタンプ本体２の外壁６に嵌合し、スタンプ本体２の下端部にスカート部材１０が取

り付けられる。

【００２９】

このように、スタンプ装置１によれば、孔版原紙Ｋの取り付けを迅速且つ容易に行うことができる。また、耳部Ｍの下端角部Ｍａはしっかりと折り込まれるので、前述した従来のものに当たる図５（ｂ）に示した耳部Ｍに比べてその開口度合いが小さく、例えば図６に示すようにスタンプ装置１を横置きにした場合にも同部から容易にはインクが漏出しない。

【００３０】

しかしながら、インク含浸体保持部５の下端部を孔版原紙Ｋにより包み完全に密閉することは困難であるので、スタンプ装置１を横置きにした場合当該耳部Ｍからインクが多少漏れ出る場合がある。この場合には前述したように当該耳部Ｍが第２ガイド片１５と第３ガイド片１６との間に位置しているので、インクは耳部Ｍから第２ガイド片１５と第３ガイド片１６との間隙に漏出し、毛細管現象により同間隙内に保持される。斯くして第２ガイド片１５と第３ガイド片１６との間隙は漏れ出たインクの溜まり部として機能する。

【００３１】

また、スカート部材１０の係合壁１２とスタンプ本体２の外壁６とが係合して両者が組み付けられるので、前記第２ガイド片１５と第３ガイド片１６との間隙はスタンプ本体２とスカート部材１０とで形成される閉空間内にあり、例え前記間隙からインクが更に漏れ出したとしても、前記係合壁１２及び外壁６が障害となってスタンプ装置１外に更にインクが漏れ出すのが抑制される。

【００３２】

また、前記第２ガイド片１５と第３ガイド片１６との間隙からインクが漏出し、第３ガイド片１６の表面を伝って係合壁１２と第３ガイド片１６との間にインクが移動する場合がある。この場合、例えば図２に示すリブ１８と係合壁１２及び第３ガイド片１６との接合部が直角であると、毛細管現象によってこの接合部を経路とした第３ガイド１６の側面１６ａ－基盤１１の表面１１ｂ－係合壁１２の内側面１２ａ（図６）というインクの移動経路が形成され、これを経由して係合壁１２と外壁６との嵌合部からインクが滲み出すこともある。そこで、本実施形態においては、図２に示すようにリブ１８と係合壁１２及び第３ガイド片１６との接合部をＲ形状に形成し、同部に毛細管現象によるインクの移動経路が形成されるのを防止した。

【００３３】

以上、本発明の一実施形態について説明したが、本発明の具体的な形態がこれに限定されるものでないことは言うまでもない。

【００３４】

【発明の効果】

以上に詳述したように、請求項１に係る発明によれば、側縁部を折り返し形成された孔版原紙の耳部を、第３ガイド片により更に折り返しているので、当該耳部が前記スタンプ本体の側面に密着し、孔版原紙がインク含浸体を密閉状に包み込むので、スタンプ装置を横置きにした場合であってもインクが当該耳部から容易には漏洩しない。

【００３５】

また、請求項２に係る発明によれば、更に、前記耳部を第２ガイド片と第３ガイド片の間隙に案内するようにしているので、仮に当該耳部からインクが漏洩しても、漏洩したインクは当該第２ガイド片と第３ガイド片の間隙に毛細管現象によって保持され、更にスカート部材の係合壁とスタンプ本体の外壁が係合するように両者を組み付けるようにしているので、前記第２ガイド片と第３ガイド片との間隙はスタンプ本体とスカート部材とで形成される閉空間内にあり、例え前記間隙からインクが更に漏れ出したとしても、前記係合壁及び外壁が障害となってスタンプ装置外に更にインクが漏れ出すのが抑制される。

【００３６】

また、請求項３に係る発明によれば、係合壁と第３ガイド片との間に設けられているリブと係合壁及び第３ガイド片との接合部を曲面に形成し、これを鈍角にしているので、同

部に毛細管現象によるインク導出経路が形成されず、更にインク漏れが生じ難い。

【図面の簡単な説明】

【図１】　本発明の実施形態に係るスタンプ装置を各部材に分解して示す斜視図である。

【図２】　スカート部材を図１における上方から視た平面図である。

【図３】　図２の矢視Ｂ－Ｂ断面図である。

【図４】　組み付けたスタンプ装置を図１に示す矢示Ａ－Ａ方向から視て示す断面図である。

【図５】　孔版原紙の折り返し作用を説明するための説明図である。

【図６】　スタンプ装置を横置きにした状態を一部省略して示す断面図である。

【図７】　従来のスタンプ装置を各部材に分解して示す斜視図である。

【図８】　従来装置のスカート部材を一部省略して示す平面図である。

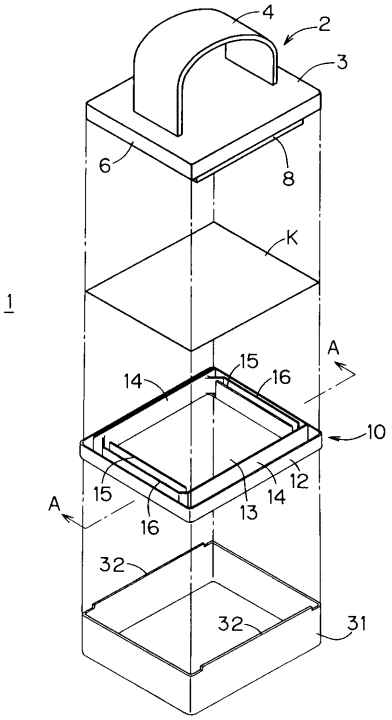
【図９】　従来装置の孔版原紙の折り返し作用を説明するための斜視図である。

【図１０】　組み付けた従来のスタンプ装置を示す斜視図である。

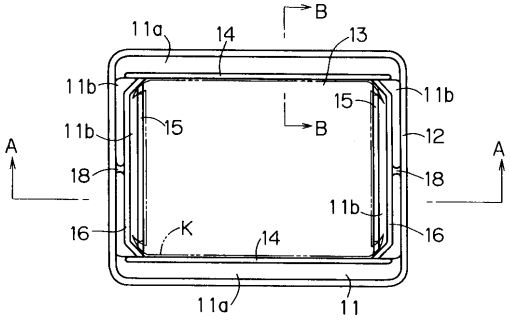
【符号の説明】

１　スタンプ装置
２　スタンプ本体
３　基盤
４　把持部
５　インク含浸体保持部
６　外壁
８　インク含浸体
１０　スカート部材
１１　基盤
１２　係合壁
１３　貫通孔
１４　第１ガイド片
１５　第２ガイド片
１６　第３ガイド片
１７　凹部
１８　リブ
１９　カバー
Ｋ　孔版原紙
Ｍ　耳部

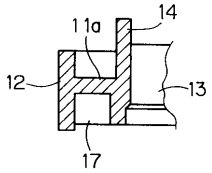
【図１】


4
2
3
6
8
K
1
A
15
14
16
10
15
16
13
14
12
A
32
32
31

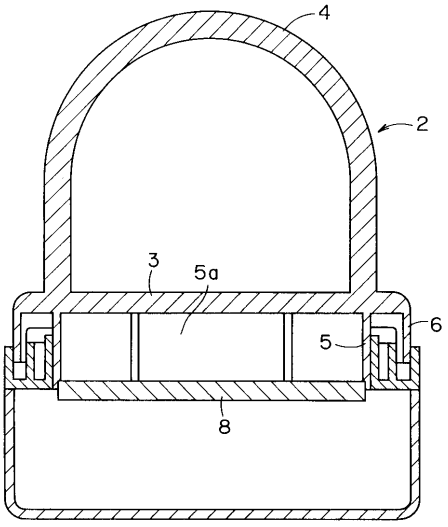
【図２】


B
11a
14
13
11b
15
11b
15
B
11b
12
A
A
18
18
11b
16
K
14
16
11a
11

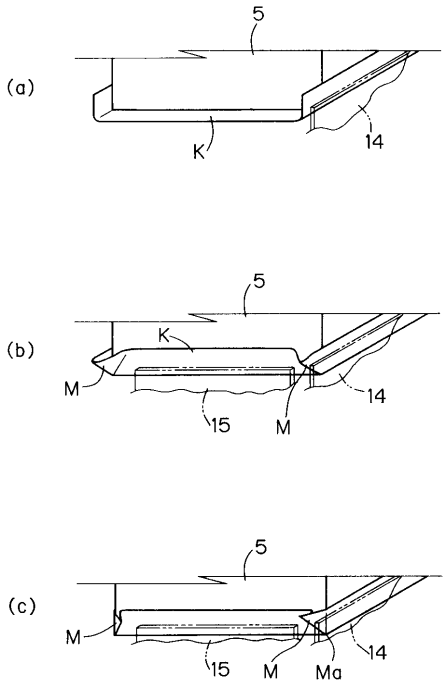
【図３】


14
11a
12
13
17

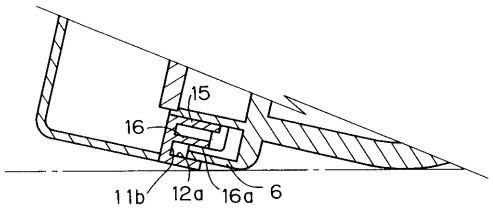
【図４】


4
2
3
5a
6
5
8

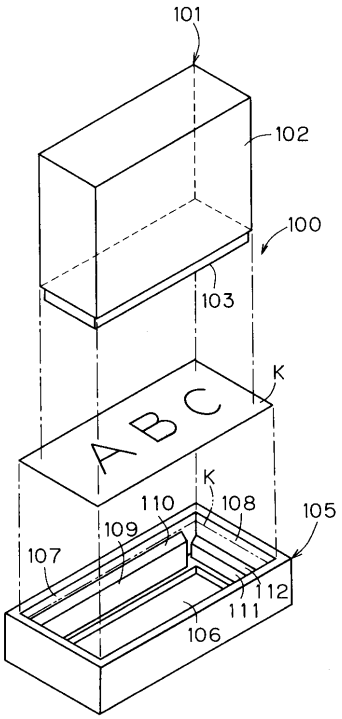
【図５】


(a)
5
K
14
(b)
5
K
M
14
15
M
(c)
5
M
14
15
M
Ma

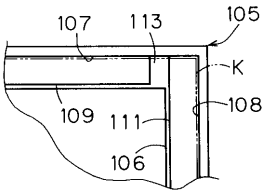
【図６】



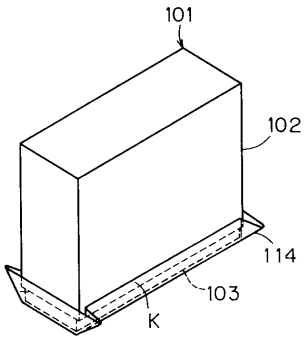
【図７】



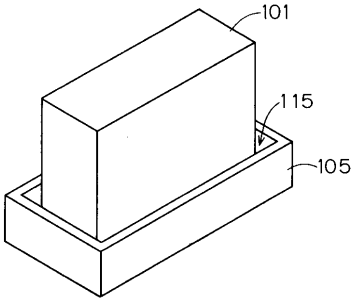
【図８】



【図９】



【図１０】



フロントページの続き

審査官　山本　一

(56)参考文献　特開平０９－０９９６１８（ＪＰ，Ａ）

(58)調査した分野(Int.Cl.[7]，ＤＢ名)
B41K 1/32
B41L 13/02